

学習指導案の形式（例） 中学校特別活動

学級活動（２）「適応と成長及び健康安全」及び（３）学業と進路

第○学年○組 学級活動指導案

平成○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

- 1 題材名 「○○○○○○○○○○」
内容（□）○○○○○○○○○○

◇年間指導計画を基に題材を設定する。その題材がどの共通事項なのかを明記する。

- 2 生徒の実態と題材について
(1) 生徒の実態

◇学級生活における生徒の実態からこの題材を取り上げる必要性など、教師の題材観、指導観等について記述する。
◇必要に応じて、各教科、道徳及び総合的な学習の時間との関連を図った計画的指導や学年段階、発達段階に即した系統的な指導に関わる配慮事項などについて記述する。

- (2) 題材設定の理由

◇取り上げる題材の内容、今までに取り組んできたこととの関連、その題材を取り上げる意義、題材と生徒との関係などを記述する。

- 3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
例：～日常の生活や学習に取り 組もうとしている。	例：～について考え、判断し、 ～実践している。	例：～について理解している。
◇評価規準の設定に当たっては、『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 特別活動】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）などを参考にして、適切に設定することが望ましい。		

- 4 事前の指導

日時	生徒の活動	教師の指導・支援	学習評価
○月 ○日（○）	◇例えば、「調査」「アンケート」などを実施する場合、生徒の立場で簡潔に書く。	◇指導者の立場で書く。準備物や具体的な手だてを記入する。	◇事前・本時・事後の活動の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。
○月 ○日（○）			

- 5 本時のねらい

◇生徒の立場で書く。
◇自他との関わりの中で、個人の課題を踏まえ、どのような自己決定ができるようにしたいのかの指導のねらいを端的に記述する。
※文末表現の例「～することができる」「～に取り組もうとしている」「～を実践している」「～について理解している」など

6 本時の展開

	学習活動	教師の指導・支援	学習評価
導入	1 2	○ ○	
展開	◇具体的に書く。 例えば、問題を把握したり、原因を考えたりする活動や、解決方法の工夫や個別の自己決定の場面などを、導入・展開・終末の学習過程に位置付けて書く。	◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、重点、工夫、手だてなどについて留意すべきことを具体的に書く。 ◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。 ◇「○○する生徒に対しては、□□を△△することで◇◇を促す」など、具体的な指導・支援が分かるように書く。 ※文末表現の例 ～雰囲気をつくる。 ～するように助言する。 ～の場を設定する。 ～声掛けを行う。 ～を引き出す。 ～意欲を高める。 など	◇評価規準を基に、具体的に書く。 ◇本時は「思考・判断」に重点を置き、事後指導で「実践」に重点を置いて評価することも考えられる。 ◇評価の観点や方法を書く。 ○例：～している。 〔評価の観点〕 (評価の方法) ◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノートの記述 ・ワークシートの記述等
終末	5 6	○ ○ ◇指導者の立場で書く。	

7 事後の指導

日時	生徒の活動	教師の指導・支援	学習評価
○月 ○日(○)	◇生徒の立場で簡潔に書く。	◇指導者の立場で書く。 準備物や具体的な手だてを記入する。	◇事前・本時・事後の活動の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。
○月 ○日(○)	◇本時において自己決定したためあてや取組を振り返る活動等を設定し、具体的に生徒の活動や教師の指導・支援を書く。		